

# 校長室だより

# 手 ほ う え

笑顔想り

1月号

H28

1. 28

中西和彦

発行者  
中西和彦



## 「田舎」れたじかわじしものー



昨年は、「ワグラーのワールドカップ」で

日本の代表チームが大活躍をしました。そして、その中で、五郎丸選手のルーティンが話題になりました。今年に入りて、大相撲初場所で優勝した大関琴奨門の制限時間といはざなうの立派な直記の胸をもつ姿もルーティンの一つです。ルーティンとは「決まり切った仕事、機械的な田舎業務、型どおりの手順」といつ意味があるのです。田舎の切った作業を「ワールドカップ」のいつものです。

田舎回りのことを繰り返しこそだめ、ひょいこした田舎の体調の悪し悪しは、ややこしくなった。

いつも決まった状態に持つていて、それが重篤です。普段の行動が正しければ、まだ、本気で取組んでいなければ、自分のルーティンを行なうと、田舎のソベルの高い自分を呼び起します。がむしゃらにこのままです。田舎の行動、やるべしもやるべつかにして、田舎の本気を出せば、やるべしもやるべつかにして、田舎のせん。やるべしもやるべつかない「田舎」を大切にして、田舎と戻つてみます。

普段の生活ですが、回りの人の繰り返しがあるから、晴れやかになり樂しく時間を過ごす時間があります。しかし、晴れやかな樂しく時間がからむ時間が、「田舎」があながて、どこでしかつかない「田舎」を大切にします。



## 三学期も先生方は研修してじます



一学期は、3年生の先生方が授業をよりよくするために、研究授業と研究協議を行なった。二学期は2年生の先生方が研究授業をして貰われた。そして、3年生

1月21日(木)には、1年生の先生方が、研究授業をしました。参観された先生方は、少しでも分からずかず工夫をされてこの授業から何か取り入れられるかなにかと一生懸命でした。

晴れやかになり樂しく時間を過ごす時間があります。しかし、晴れやかな樂しく時間がからむ時間が、「田舎」があながて、どこでしかつかない「田舎」を大切にします。



高校2月22日  
公立特試一般試験3月10日

公立立高校10月11日

公立

立

立

立

立

立

立

立

立

立

立

立

立

立

立

立

立

立

立

立

立

立

立

立

立

立

立

立

立

立

立

立

立

立

立

立

立

立

立

立

立

立

立

立

立

立

立

立

立

立

立

立

立

立

立

立

立

立

立

立

立

立

立

立

立

立

立

立

立

立

立

立

立

立

立

立

立

立

立

立

立

立

立

立

立

立

立

立

立

立

立

立

立

立

立

立

立

立

立

立

立

立

立

立

立

立

立

立

立

立

立

立

立

立

立

立

立

立

立

立

立

立

立

立

立

立

立

立

立

立

立

立

立

立

立

立

立

立

立

立

立

立

立

立

立

立

立

立

立

立

立

立

立

立

立

立

立

立

立

立

立

立

立

立

立

立

立

立

立

立

立

立

立

立

立

立

立

立

立

立

立

立

立

立

立

立

立

立

立

立

立

立

立

立

立

立

立

立

立

立

立

立

立

立

立

立

立

立

立

立

立

立

立

立

立

立

立

立

立

立

立

立

立

立

立

立

立

立

立

立

立

立

立

立

立

立

立

立

立

立

立

立

立

立

立

立

立

立

立

立

立

立

立

立

立

立

立

立

立

立

立

立



## 阪神・淡路大震災から27年目

1995年(平成7年)1月17日午前5時46分、阪神淡路大震災が起きました。死者6434名、重傷者4万3776名、全壊・全焼棟数10万4906棟の被害がありました。建物が崩壊し、その下敷きになつたり、あたりで火災が発生しました。水道管が破裂し、消火用の水が出なかつたり、道路が寸断されていて、緊急車両が走れない状況でした。また、地震発生直後に停電になりました。その後、回復し、電気が通じたところがありました。しかし、暖房機器のスイッチを切れなくて避難したり、気付かなかつたといふから火災が発生しています。しかし、直後は消防や救急などの公的救助(公助)が行なわれます。あと、互いに助け合ひ、支え合ひ(共助といいます)ました。震災後、落ちついてから、非常食や水を避難用に準備していました。あれから、21年。今はどうでしょつか。地震に限らず、台風や火災など被災したときどきのように自分の命を守るのが、家族で話し合っているのでしょうか。

「災いは、忘れたじやないへん」



### 非常持ち出し品目(例)

非常食(カロリー源、満腹感があり軽くて小さいもの)、飲料水、懐中電灯、下着の替え、マッチやライター、予備の電池、救急セット、ちり紙、缶切り、栓抜き、貴重品、雨具、手袋、メガネなど。日常生活に欠かせないもの



### H27生徒アンケート(12月)

		肯定的意見(%)
1	学校へ行くのが楽しい	81
2	学校行事はみんなが楽しく行えるよう工夫されている	75
3	将来の進路や生き方について考える時間がある。	72
4	命の大切さや社会のルールについて十分に学んでいる。	87.3
5	人権の大切さについて十分に学んでいる。	84.4
6	学校や地域でよく挨拶をしている。	86.3
7	授業で分からぬことについて、先生に質問しやすい。	69.6
8	授業は分かりやすい。	77.4
9	通知表の学習成績のつけ方に納得できる。	76.7
10	自分の努力を認めてくれる先生がいる。	79.6
11	先生は、いじめなどに対してすぐに対応してくれる。	78.3
12	相談できる先生がいる。	64
13	学校は、校内美化や環境整備ができる。	64.3
14	保護者や地域の人々と一緒にになって学習や作業をすることがある。	48
15	急な事件や事故、自然災害が発生した時、どうしたらよいか分かっている。	76.7
16	『シラバス』の内容を確認して活用している。	35.7
17	家で学校の授業の復習をしている。	53.3
18	習熟度別少人数授業やチームティーチング授業は分かりやすい。	68
19	学校の決まり(規則)を守っている。	91.4
20	人の役に立つ人間になりたいと思う。	90

## 編集後記

3学期は、学年の仕上げの学期です。次の学年に進級する準備になります。この一年、何を学び、何を残せばよいのか?振り返りながら、整理をしてほしいと思います。どれほど成長したのか?大人にどれほど近づいたのか?大人になるということは、どういうことなのかもよく考えてください。中学校は、大人になるための基礎基本を学ぶところです。どんな人生を送るのか?今を大切にしてください。

先日、氷点下35度の厳しさ寒さの朝がありました。寒くて厳しさ冬だと、おつりのままで、春が来ないのではないかと錯覚してしまったのです。今年に入つて、インフルエンザにかかるといふ人が急増しています。そこで適切な対処法を紹介します。

(1) 手洗い・うがいの励行。マスクの着用。  
(2) 人混みや繁華街への外出は控えましょう。  
(3) 室内の乾燥に注意しましょう。  
(4) 十分な休養を取り、体力や免疫力を高めよう。

(5) バランストよく栄養を摂取しましょう。  
また、ノロウイルス感染に 対しては、手洗い。せつけん・流水による手洗いが基本です。そして、じかにもかかったかなと思つたり、すぐ医療機関に行つて

★ご協力ありがとうございました。

12月に行なった学校評価アンケートの集計ができましたので、紹介します。なお、保護者の皆さま方に「公用」といふ、「協力」いただきましてありがとうございました。ルールを守るなどの規範意識は、割を超える肯定的な意見でした。授業や学習についての意見が低い割合を示しています。これらの結果をもとに、教職員の最終反省や学校協議会に提出し、今後の学校の取り組みに活用させていただきたいと思います。(左表参照)



診察してもらひたいと思います。



## 学校評価アノケート速報